

子どもを犯罪被害 から守るために



インターネットの適切な利用や危険性に関する指導の徹底を！

インターネット上のコミュニティサイトを通じて子どもがトラブルに巻き込まれる事案は、管内においても少なくありません。

子どもを犯罪被害から守るために、インターネット利用の現状を把握し、子どもや保護者に注意喚起を行いましょ。

ー子どもを取り巻く状況ー

- ・インターネット上のコミュニティサイトで被害にあった子どもは過去最多。
- ・アクセス手段は携帯電話（スマホ含）が88%。
- ・複数交流系（ツイッター、フェイスブック等）のサイトによる被害が大幅増加。
- ・被害にあった子どものうち88%がフィルタリングをしていない。また、インターネット利用に関する指導を受けたと認識している者は3割強。

（平成28年10月 警察庁）

インターネットの適切な利用や危険性に関する指導のポイント

「児童生徒が犯罪に巻き込まれないための取組の推進について」【H27.10 岡山県教育委員会】

- インターネット上には悪意を持った大人が存在することを理解させ、「相手を簡単に信用しない」「スマホ等で裸の画像等を送信しない」「見ず知らずの人とは会わない」などを理解させ、徹底させる。
- インターネット接続が可能なゲーム機や音楽プレーヤーでも被害の可能性のあることを認識させる。
- いったんインターネット上に画像が流出すると、回収は難しく、将来にわたって苦しむことになることを理解させる。
- 日ごろから「学校が絶対に守ってくれる」という意識を持たせ、被害にあった場合は必ず学校に相談させるようにする。

指導に役立つ資料

保護者・地域向け学習リーフレット「知っていますか？ スマホ・ネットのこと」【H27岡山県教育委員会】



「ケータイ&スマホ、正しく利用できていますか？（小中学生版）」【H28文部科学省】

